



コミュニティぬまづ第一

沼津市第一地区コミュニティ推進委員会広報紙 第17号 平成13年4月1日発行

コミュニティってなあに？

皆の力を結集し、住みよい街・第一地区を

「第一地区コミュニティ推進委員会」が発足し早五年目の春を迎えました。常任委員会を中心に各町内からの推進委員の方々の協力により各種の行事は年と共に盛んになり今日に至っております。

コミュニティの重要性が一段と高まっている今日「コミュニティってなあに？」についてお互いに、再認識し「活動の輪」に気軽に参加しましょう。

去る二月十六日婦人部主催の

講演会が、社会教育評論家の西ヶ谷悟先生をお迎えし「コミュニティってなあに？」をテーマに開催されました。

各町内から多くの方が参加しコミュニティについて理解を深めようと非常に熱心に拝聴している姿が印象的でした。

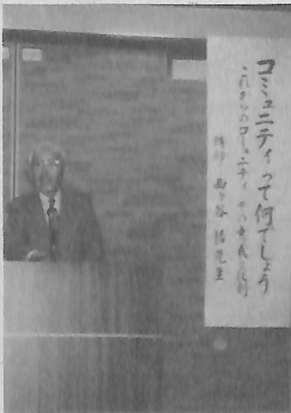
「コミュニティって何？」

西ヶ谷先生は「そこに住む人々が自分たちの手で住みよい地域社会を作ることである。個人家庭だけでは幸せは保障されません。また、行政の手で利便性だけを追求したいろいろな設備や建物が出来ても快適な生活は

保障されません。

このそれぞれ個人と行政を結びつけ、住みよい地域社会を実現させるためには、地域の継続的な活動が必要となります。これがコミュニティなのです。

昨今の社会経済情勢の激変のなかで心豊かな暮らしを築くために、コミュニティがますます重要な役割を果たすのです。」と熱く語ってくださいました。



地域にあったコミュニティを

今、各地で地域の特性を生かしたコミュニティ、まちづくりが盛んに行われています。コミュニティの先進地域の神戸真野地区では、阪神大震災のとき、普段の活動が生かされ死傷者が非常に少なかったという報告があり、この地区のまちづくりが注目を浴びました。

私たちの第一地区でも、コミュニティ推進委員会を中心にさまざまな活動、行事が行われております。

主な行事として、納涼祭、体育祭、コミュニティ祭、防災訓



練、成人式などがあります。またそれぞれの専門部がさまざまな「ふれあいの場」を設けて、地区センターを中心に心の通い合う活動を展開しております。

私たちの回りには青少年の健全育成、高齢化社会への対応、防災・安全、ゴミ・環境問題など多くの課題が山積しており、これらの課題を解決するのは、そこに住む住民の自主的な活動（コミュニティ）しかありません。問題解決はもろろんのこと活動を通して地域の人々の出会い、ふれあい、学び合いのなかで心の通い合う人間関係、社会連帯感を育てて行くことが大切なことだと思っています。

それには先ずこれら活動の輪のなかに入ること、参加することから始めましょう。これから高齢化社会に向けて、生き甲斐となる活動、頼りにされる役割を見つけてみませんか。そして子供たちに夢を与え、気軽に挨拶ができる思いやりのある、健康で明るく住みよい街・第一を、私たちの力で作りましょう。

「コミュニティの皆で 新成人をお祝い」

平成十三年一月八日(月)
白銀町「高砂殿」において、
成人者八十五名を迎え、成
人式が行われました。

第一地区成人式への出席者
は九割を越えて、沼津市でも
一番高い出席率でした。

テレビ等で成人式が荒れて
いるところが報道されていま
すが、第一地区の成人式式典
は静粛に行われました。



式典での、小学生による新
成人へのお祝いの言葉や、中
学生の市民憲章唱和は、ほほ
えましいものでした。

懇親会では、しゃぎりの演
奏や、抽選会等のアトラクシ
ョンも行われ大変盛会で、新
成人はお互いに記念写真を撮
ったり、先生方や友人との話
に花を咲かせておりました。

また、式典会場への父兄席
設置や懇親会への父兄参加は
新成人、父兄ともに好評でし
た。最後に、関係者の方々の
協力に感謝申し上げます。

(青少年育成部長
酒井 明)

第一地区センター 利用者十万人を突破

第一地区センターの利用者
が、一月七日十万人を突破し
ました。

十万人目となったのは大手
町の鈴木小夜子さん、九万九
千九百九十九人目が大手町の
河野あけみさん、十万一人名
が第一小学校四年渡辺諒君で
この三人の方に、記念品を贈
りました。

平成九年三月にオープンし
て以来、地域の会合、生涯学
習等に幅広く利用され、順調



に利用者が伸びたことで、開
館四年を待たずに十万人に達
しました。今後も、活発なコ
ミュニティ活動のもと、地域
の交流、文化発展の場として
育っていくことを願っており
ます。

体育部主催行事予定

- | | |
|-----|--|
| 4月 | 沼津市長杯バレーボール大会 |
| 5月 | 第68回婦人バレーボール大会 |
| 6月 | 東レバレーボール教室
夏期ソフトボール大会 |
| 7月 | ソフトボール講習会 |
| 8月 | 軽スポーツ大会 |
| 10月 | 第一地区バトミントン大会
小田急バレーボール教室 |
| 11月 | ソフトボール秋期大会
第69回バレー大会総当前半戦 |
| 1月 | 香貴山御来光登山
紅白初打ちソフトボール
初アタックバレーボール
第一地区バトミントン大会 |
| 2月 | 役員研修会
第69回バレー大会総当後半戦 |
| 3月 | 春期ソフトボール大会 |

平成12年度 第一三二バス男子部 大活躍の軌跡！

- | | |
|----------------|-----|
| ・第23回 東海大会 | 第3位 |
| ・チャンピオンズカップ県大会 | 準優勝 |
| ・パナホームカップ県大会 | 準優勝 |
| ・チャンソンカップ県大会 | 準優勝 |
| ・第54回 沼津市スポーツ祭 | 優勝 |

男子部 6年生メンバー

増田 一樹 (上本通)	大川 昌紀 (真砂町)
大野 真矢 (町方町)	長島 一樹 (末広町)
井村 将己 (錦町)	島本 尚人 (2小)
内田 雅之 (上土町)	鈴木 胤紗 (2小)
福室 裕哉 (真砂町)	鈴木 悠史 (2小)
後藤 新平 (西条町)	

*みなさん、中学校でも、頑張ってください。

地域の人・もの 紹介します

スキーボーダーのトップ

西条町・中澤 朝海さん

昭和五十年二月三日生

陸上自衛隊御殿場勤務

「HAKUBA47で、ワ

ンメイク、ハーフトップの

両部門で優勝。様々な国内

国際大会で活躍中。

長野県佐久スキーガーデン

「パラダ」のスノーパーク

をプロデュース。

今後の活躍を期待し、

応援しましょう。



参加しよう。出会い、ふれあい、学びあいの場

今年度も趣味の教室を開講

教育文化部としての昨年度

の事業は、地域のボランティア講師による趣味の教室の開催、弦楽（ヴァイオリン、ピオラ）のコンサート、コミ祭

の展示部門の担当、料理教室ビデオ上映会（別掲）の開催等でした。

地域での出会い、ふれあひ学びあいの場のネットワークをさらに広げていきたいと思っています。

今年度の開講する「趣味の教室」をご紹介します。

☆茶道入門教室

東海庵龍子さん（末広町）

☆生け花教室（入門コース）

加藤 翠風さん（真砂町）

☆大正琴初級教室

小野けい子さん（添地町）

☆洋菓子教室

杉山 智さん（市役所）

☆着付け教室

坂井 秀代さん（上本通）

伊藤 秀子さん（真砂町）

☆書道入門教室

井口八千喜さん（町方町）

以上の六教室です。

・・・・・・

本年二月に行われたビデオ上映会を観た小学生とそのお母さんの感想のお話。

「勉強することも大切だが、それ以上に感動を与えてくれて大変うれしい」

「お友達っていいな、お友達を大切にしたい」と。

小児科学の父・スポーク博士は「親が今、子に出来ることは一つ、人に尽くす姿を教えよ」といっています。

人に尽くそう、人の役に立っていいこうと、親自身が社会へ積極的に関わり、その姿を子供たちに示していくこと、いわゆるボランティア活動が大切ではないでしょうか。

（教育文化部長
望月 ふみえ）



生涯続く「真の友情」

二月二十日、教育文化部が主催のビデオ上映会が開かれました。このドラマは、障害に負けず「全てに挑戦」の心で勝利の人生を開いてきた一人の青年の体験をモデルに、「不可能を可能にする強き心・助け合う友の存在がいかに人生に希望を与えるか」を描いた感動のヒューマン・ドラマ。現在社会に失われつつある人間と人間との心の連帯、苦難に打ち勝ってこそ人生の喜びがあることを描いており、正に感動のビデオでした。

鑑賞した方からの感想文を紹介します。

親がハツとするような・・・それはそれは残酷です。が、事実なので仕方ありません。

そこがスタートで、事実を本心に理解すると「友情」が生まれるようです。

『怒り、ののしり、励まし』生涯続く友情と、その親たちの素敵な心を感じました。

勿論、それを充分汲み取り満たす器を持った彼だったの

で。（西条町・常山美穂子）

自主的に行動できる人に

身体障害者である主人公の成人になるまでの奮闘記。その中には感動する場面や、手を携えたくなるところも多々ありました。

高度経済成長期以後、恵まれた文化生活に慣れ、人としての原点を忘れ、精神的なストレスに悩まされているのが現状。

もう一度見直そう家族のあり方、人としての道徳、思いやる心、子供に必要な冒険心自主的に行動できる人を育てなければ、改めて意欲に燃えました。

（添地町 中野いとゑ）

平成13年度
コミュニティ推進委員会総会

とき 5月18日(金) 午後7時
ところ 第一地区センター

お誘い合わせご参加下さい。

地域の技を学ぶ

第二中学校ふれあい講座

二月十七日(土)の午前中に第一中学校で「ふれあい講座」が行われました。この講座は総合的な学習の一貫で、「地域の技を学ぶ」と題し、

- ・ 鯔の開きの作り方
- ・ 着物の着付け
- ・ お抹茶のたて方と作法
- ・ 囲碁・将棋
- ・ 車椅子体験
- ・ フラワーアレンジメント
- ・ 和風の作り方
- ・ よさこい踊りを覚える
- ・ ケーキ作り
- ・ 折り紙

を内容とした十の講座が用意されておりまして。

講師は地域の方がボランティアで務め、第一地区コミュニティ趣味の教室等の講師である酒井さん、芹沢さん、庄司さん、安藤さんもいらしていました。生徒たちはこれら講座の中から一人が一つの講座を受講することになってい

ましたが、十もの講座が揃ったことと興味のあるものを自分で選べることで、どの生徒もみな真剣に取り組んでおりました。

風作り講座では、どの生徒も上手に風を作りあげ、出来上がった後、校庭に出て、風を上げましたが、上手に上げた生徒は僅かでした。風作りと比べると、風上げは簡単だと思いますが、今の子は、そのような遊びを余りしていないのでしょうか。



フラワーアレンジメント講座では、花籠の生け花を綺麗に作りあげていました。

よさこい踊りでは、難しい振りのある曲を、どの生徒も踊れるようになっていました。生徒たちが笑顔で踊っている姿と、講師の方々の熱の入った指導に見入っていました。

鯔の開き講座の生徒の感想文では、魚の下ろし方や、干物のつくり方が分かったので家の人に教えたい、楽しく学べた、講師の「一魚伊」のご主人に長生きして欲しいなどと言書かれており、生きた学習になったことと思います。

各講座を見学して、生徒達の吸収力の良さに感心させられました。

また、講師の方の指導の様子からは、生徒達に何とか技を教えたい、今日の経験を後々生かしてもらいたいという気持ち伝わってきました。勉強以外にも、様々な事を学び経験しながら成長してい



くことが生徒達にとっては必要ですし、また、それらの機会を提供していくことが大切であると思いました。

平成十四年度からは、学校は週五日制に移行し、土・日は休みになります。

文部省は、休みを増やすことで、生徒達にゆとりを持たせることや、休みを利用して地域活動等に参加し、経験を積むなかで、生きる力や、たくましさや身につけることを狙いとしています。将来を担う子供達を健全に育てる事は地域の大人の役割であります。



家庭では出来ないことも大勢の人で構成されているコミュニティでは可能です。

コミュニティの行事や活動等に、生徒達も、これから大いに参加してもらい、地域の人達との触れ合いの中で、色々なことを経験し吸収し、成長して欲しいと思います。

地区センター休館日

4月	2.	9.	16.	23.	30
5月	4.	5.	6.	7.	14
	21.	28			
6月	4.	11.	18.	25	

☎63-5088